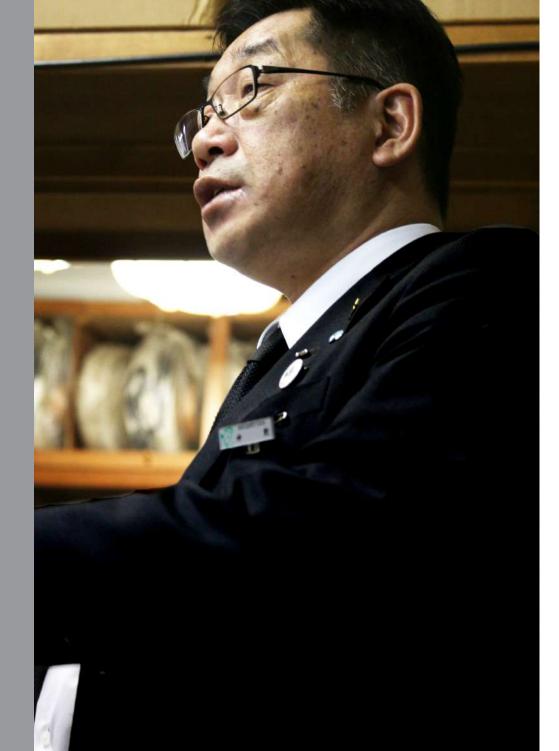
と思いたらてい

すから、 るのですが、 らの感謝の言葉を頂いた時です。います。そして、何より嬉しいのは、 再び声がかかったり、「次もお願いします」と言われることがあ これまで葬儀を手掛けてきたなか、以前担当したご家族から もっともっと信頼されるよう一生懸命努力しようと思 それは嬉しいものです。信頼されたということで 葬儀の最後にご遺族様か

うにすること、もうひとつはお客様の言葉の裏にある思いを引 場に立って、お客様が今何を聞きたがっているのかを考えるよいつも心がけていることが2つあります。ひとつは相手の立 げたいのです。 き出すようにしていることです。それを自分なりの形にしてあ

ております。 お客様のため必要だと思われる仕事をさせて頂きたいと思っ

その人らしい葬儀を するための努力を お客様の思いを形にして あげたい



| と思うからです。 | 人様のできるだけ多くを知るようにしています。その人らしい | 亡くなられた方へ伺う時には、事務的にならないように、故 | | 仏教の世界があり、奥が深いものだとつくづく感じてます。 | お寺からお墓、法事などすべて型通りはにいきません。さらに | しての気配りや言葉遣いの大切さでした。お客様は十人十色で、 | 思えば失敗したことは数々で、そこから学んだことは他人に対 | 若い頃から人と話をするのは苦手で得手な方ではありません。 | | からは人と人の繋がりが大事になると考えたからです。 | 屋で働いていました。今の職場で働くようになったのは、これ | もともと絵を描くのが好きで、この会社で働く前までは看板 |
|----------|------------------------------|------------------------------|---|---|--|--|---|---|--|--|---|--|
| | | 人様のできるだけ多くを知るようにしています。その人らしい | 人様のできるだけ多くを知るようにしています。その人らしい亡くなられた方へ伺う時には、事務的にならないように、故 | 人様のできるだけ多くを知るようにしています。その人らしい亡くなられた方へ伺う時には、事務的にならないように、故 | 人様のできるだけ多くを知るようにしています。その人らしい亡くなられた方へ伺う時には、事務的にならないように、故仏教の世界があり、奥が深いものだとつくづく感じてます。 | 人様のできるだけ多くを知るようにしています。その人らしい亡くなられた方へ伺う時には、事務的にならないように、故仏教の世界があり、奥が深いものだとつくづく感じてます。 | 人様のできるだけ多くを知るようにしています。その人らしいお寺からお墓、法事などすべて型通りはにいきません。さらにこくの気配りや言葉遣いの大切さでした。お客様は十人十色で、 | 人様のできるだけ多くを知るようにしています。その人らしいとくなられた方へ伺う時には、事務的にならないように、故亡くなられた方へ伺う時には、事務的にならないように、故亡くなられた方へ伺う時には、事務的にならないように、故 | 人様のできるだけ多くを知るようにしています。その人らしいとくなられた方へ伺う時には、事務的にならないように、故亡くなられた方へ伺う時には、事務的にならないように、故亡くなられた方へ伺う時には、事務的にならないように、故亡くなられた方へ伺う時には、事務的にならないように、故 | 大様のできるだけ多くを知るようにしています。その人らしいしての気配りや言葉遣いの大切さでした。お客様は十人十色で、しての気配りや言葉遣いの大切さでした。お客様は十人十色で、は教の世界があり、奥が深いものだとつくづく感じてます。 亡くなられた方へ伺う時には、事務的にならないように、故 亡くなられた方へ伺う時には、事務的にならないように、故 | からは人と人の繋がりが大事になると考えたからです。 からは人と人の繋がりが大事になると考えたからです。 | 屋で働いていました。今の職場で働くようになったのは、これ をは人と人の繋がりが大事になると考えたからです。 お時から人と話をするのは苦手で得手な方ではありません。 とての気配りや言葉遣いの大切さでした。お客様は十人十色で、 しての気配りや言葉遣いの大切さでした。お客様は十人十色で、 しての気配りや言葉遣いの大切さでした。お客様は十人十色で、 しての気配りや言葉遣いの大切さでした。お客様は十人十色で、 しての気配りや言葉遣いの大切さでした。お客様は十人十色で、 しての気配りや言葉遣いの大切さでした。お客様は十人十色で、 しての気配りや言葉遣いの大切さでした。お客様は十人十色で、 しての気配りや言葉遣いの大切さでした。お客様は十人十色で、 しての気配りや言葉遣いの大切さでした。お客様は十人十色で、 しての気配りや言葉遣いの大切さでした。お客様は十人十色で、 しての気配りや言葉遣いの大切さでした。お客様は十人十色で、 しての気配りや言葉遣いの大切さでした。お客様は十人からに対した。 とはからがたっとは数々で、そこから学んだことは他人に対 したっとはのまするのなどのでした。お客様は十人十色で、 しての気配りや言葉遣いの大切さでした。お客様は十人からに、 なられた方へ伺う時には、事務的にならないように、故 したるられた方へ伺う時には、事務的にならないように、故 たくなられた方へ伺う時には、事務的にならないように、故 したる。 たからばんどんのまかり、奥が深いものだとつくづく感じてます。 |

神

憅

「青森を元気に!」

「青森を元気に!」が私たちの合言葉です。

「死」はとても悲しいことです。

しかし、その「死」に向き合うことで

「明日からお父さんのためにもっと頑張るからね!」

「お母さん本当に産んでくれてありがとう!」

と新たな一歩を踏み出せるキッカケになることもあります。

「死」と向き合うためのサポートが出来るよう、

お客様に寄り添う葬儀社でありたい、

それが私たちリンクモアの思いです。

そして、大切な時を過ごされた後に「明日から頑張ろう!」

と思っていただけるまでのサポートを

させて頂きたいと考えております。

「青森を元気に!」それが私たちの思いです。



株式会社 リンクモア



リンクモア(旧:青森冠婚葬祭互助会)は、昭和42年 (1967年)に青森市に設立以来「心の絆をだいじに」を 理念に掲げ、運営を行ってきました。 私たちは 冠婚葬祭業という人生の節目となる儀礼の中 で、この世の中は一人で生きているのではなく、様々な 方と繋がり、そして、助け合って生きている、「冠婚葬祭 は人間関係に築き(気づき)、確認する接着剤」というこ とを伝えていければと考えております。 これからも「心の絆をだいじに」という経営理念のもと、

〈地元のための、地元による、地元の互助会〉として、青 森市に、貢献いたします。



これまでも、これからも・・・ 地域の皆様と心の絆をだいじに。 リンクモア!





ゲストハウスのような空間で大切な時をゆっくりと

家族葬邸宅カシータではゲストハウス (迎賓館)のような空間で大切な時をお過ごしいただき たいという想いで建設いたしました。ご家族が集まり、ゆっくりと想い出を想い起こしながら過 ごす。カシータでは、そんな空間と時間を提供してまいります。



一人ひとりの人生という物語。決して同じストーリーはありません。だからこそ、平安閣では、 人一人に合わせた「世界に一つだけのお別れの刻(とき)」を手作りでお手伝いさせて頂きます。 どのようなご要望でも構いません。私たちに一度、想いをお聞かせください。 あなたらしいお別れの刻をご提案させて頂きます。